

への孝行 (パート 2/3) :母の :天国は彼女の足元にある

5.0

明:イスラ ムは母に多大な敬意を っています。

目:事 崇 行 とその 踐イスラ ム的モラルと

より: ア イシャ ステ シ (2009 IslamReligion.com)

日6 Dec 2009

集日 12 Dec 2009



クルア ンのいくつかの で神は、 への の遂行、孝行、そして感 がイスラ ムの必要不可欠なことだと明 にされています。しかしながら、イスラ ムにおいて女性、特に母 は、最高の尊敬と献身を うべきものと位置づけられています。神自身が、母 の役割における 々な困 を述べているのです。

“ ???...” (?????? 31:14)

言者ムハンマドの 代、一人の男が の 征に参加する 可を求めました。言者は男に、母 は健在かどうかを ねました。彼が健在です、と答えると、言者ムハンマドはこう言いました：“彼女のもとにいなさい。なぜなら天国は彼女の足元にあるからです” (???? ??????????????)

。これは何と素晴らしい譬えでしょうか! ? 母 と子供は と尊敬をもってお互いをつめ

あいます。小さな手は大きな手で包まれています。ストレスや病の に に触れる母の手。または母の のぬくもり。健康であろうと、病であろうと、 境にある も困 な も、子供たちを育て世 をする母の姿。しかしこの言：「天国は母の足元にある」は正 にはどういう意味なのでしょう？ に言えば、天国の は母 を大切にし、尊敬する者に かれていているということです。

イスラ ムの家族において母の役割は、家族の保 者であり供 者である父 の役割と同等に重要です。母 は妊娠と出 の喜びと困 の 方を するだけでなく、子供たちを彼女の一生をかけて、 育し世 するのです。彼らを正しく、敬虔な人 に育て、教育することは母 の 任 です。料理をし、 除をし、育て、教育する一方、母 はまた彼らの精神的、感情的そして身体的健康と幸福において 任があるのです。そしてその代りとして、子供たちは母 に 々の世 や 情、尊敬や彼女に する の遂行を うのです。神が母 たちに せられた任 は大きく、 に耐えがたいものです。 って良い母への 酬は天国以下の何物でもなく、そして 世 においては彼女は尊重され名誉を与えられるのです。

最も良く接するべき者は か？

言者ムハンマドのハディ スが えるところによれば、ある男が 言者の所へやってきて ね ました：“人々の中で、私が最も良く付き合うべき者は ですか？” 言者は、「あなたの母です」と言いました。男は“それから ですか？”と言いました。言者は、「それからあなたの母です」と言いました。男はまた、「それから ですか」と ね ました。言者は「それからあなたの母です」と言いました。男は「それから ですか」と再度 ね ました。すると 言者は「それからあなたの父です」と答えられました。(??????????????????)

言者のこのたった2つの格言から、イスラ ムにおける母の重要性を理解することができます。しかし物 主 が蔓延する今日、神が私たちに 付けられた への、特に母への尊敬はないがしろにされがちです。 に、私たちは自分自身が、 について不 や 蔑の言 を していることに 付きます。これらの行 はイスラ ムが命じるものではありません。

神は、言者ヤヒヤ（ヨハネ：バプテストとして知られる）は、彼の に して忠 で、彼ら
をし、彼らに であつたと えています。彼はこう言いました：

“??
??” (?????19:12-14)

付け加えて、クルア ンではこのテ マに するイエスの言 も くことが出来ます。彼は神へ
の に びつけて、彼の母マリアムへの をこのように表 しています。

“??
??” (Quran
19:30-32)

私たちの生活と同じくらい忙しい、言者たちの生活、そしてよき先人 の生活を振り返
り、彼らが 、特に母 をどのように っていたかを振り返ることは、大 有益なことです。

教友たちのふるまい

言者ムハンマドの教友の中で先 的な学者であるアブドッラ ブン ウマルは、一度ある男
が泣きながら母を背 い、マッカの なる家のあたりに行くのを目にしました。彼は不 や
困惑の素振りを せませんでした。それどころか、彼は自分自身をラクダに譬える の一
を り返していました。彼はアブドッラ ブン ウマルを ると、こう ねました：「これで私
は母 への借りを返せましたか？」イブン ウマルは言いました：「いいえ。あなたは彼
女があなたを出 した の痛み一つ分(の恩)すら、まだ返せていません。」。

のイスラ ム初期からの教友、ディブヤ ン ブン アリ アッ ソウリ もまた、彼の母とマッカ
に旅をしました。その旅は く、しかも酷暑に 舞われました。旅の 、彼は道 に小さな を
掘り、冷たい水で たしました。彼は母に向き直ると、こう言いました：“お母さん。
この水の中に座って冷をとって下さい。”

神に であるムスリムは、 に 着または 不孝であることはありません。彼らの 、特に母を
情と しさをもって接した者には素晴らしい 酬が提供されますが、しかし 不孝には しい

忠告も与えられています。言者ムハンマドは次の言 によって、不孝の危 を描写しています。

ある男が 言者ムハンマドのもとに来て、“若い男が死にかけています。人々は彼に、「アッラ 以外に神はなし」と唱えるように言っているのですが、彼はなぜかそうすることが出来ないのです。”と言いました。すると 言者は ねました：“彼は（健康であった）礼 をしていましたか？”彼は、ええ、と答えました。そして 言者はその男を に行かれ、彼に「アッラ 以外に神はなし」と唱えるよう励まそうとしました。しかしそれでも彼はその言 を することが出来ませんでした。言者ムハンマドはそれから、死にかけているその男の母 を呼びました。彼の母 はその息子から な 不孝を受けていました。

彼女が れると、言者は ねました：“尊い女性よ、彼はあなたの息子ですか？”彼女は、そうです、と答えました。彼はそれから “尊い女性よ、もし私たちがあなたの息子を火の中に放り むように したなら、あなたは彼を しますか？彼女は、勿 彼が されるように む、と答えました。言者はそれから彼女に言いました：“それでは宣言しなさい、神と私をあなたの 言者とし、あなたが今、彼に 足していると。”老いた女性はただちに宣言しました：“神よ、あなたとあなたの 言者は、私が私の する息子に 足していることにおいて私の 人です。”それから 言者は死にかけている男に向かい、“私はアッラ 以外に神はなく、かれに同等のものはなく、ムハンマドがかれの で使徒であると 言う”と唱えるように言いました。(????????????????????)

そして彼の母の しのため、死にかけていた男はその言 を唱えることが出来ました。神の恩 とご慈悲により彼が天国に入ることを されますように。へのよい は天国への ですが、その一方、彼らへの いふるまいは地 の 火という をもたらすのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1639>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。